

HSK NPO 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



「障」ちゃん

❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀ NO.284

冒頭の一言

このたびの 1 月 1 日に起きた令和 6 年能登半島地震により、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

地震や洪水などの自然災害が起こるたびに緊急時の持ち出すものや避難所の場所やそこまでのルートの確認等、非常時の対応を考えさせられます。また、障害福祉に携わる者として、どうやって一緒に避難をするのか、もし避難所に避難するようなことになったらどうしたらいいか等も考えなくてははいけないと思います。

これらは個人で解決できるものでないので、家族や地域住民の方々、またはこの障ちゃんニュースの読者の方にも一緒になって考えていけたらなと思っています。

ゆき

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	令和 6 年能登半島地震 … 2
富山短期大学出前授業 … 3	吸痰実地研修報告 … 4 - 5
ボッチャお知らせ … 6	今後の予定 … 7
ありがとうコーナー … 8	

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
工
不
毎
月
一
回
(
一
、
三
、
五
、
八
、
一
〇
、
一
三
、
一
五
、
一
八
、
二
十
、
二
三
、
二
五
、
二
八
日)
発行

令和 6 年能登半島地震

NPO法人文福

令和 6 年1月1日16時10分頃、石川県能登地方で震度7の地震が起きました。

一部大津波警報が出て津波が発生しました。

この地震で家屋倒壊・道路寸断・停電・断水など多大な被害を受けました。

富山県でも震度5強や震度5弱の地震が起き、今までに経験したことのない揺れに驚き、戸惑い、怖い思いをされたことと思います。80cmの津波がきました。

帰省先で2名の方が亡くなりました。ケガをされた方もおられます。

また富山県西部の一部でも、能登地方と同じような被害を受け、被災された方々があります。元の生活に戻るにはまだまだ時間がかかる状況になっているところがあります。

地震が起きてから1週間が経ちましたが、まだ余震は続いています。

被災された方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、この地震により大勢の方々の尊い命が奪われました。亡くなられた多くの方にご冥福をお祈り致します。ご家族の皆様にも心よりお悔やみを申し上げます。

早く余震がおさまり、ライフライン等が復旧して普段の生活に戻るようお祈り致します。

令和 6 年1月9日 記

出前授業に行ってきました。

中村 薫

12 月 12 日に富山短期大学健康福祉学科 1 年生の生徒さん方にお話しをさせてもらってきました。

最初に私の自己紹介をさせてもらい、そして文福の活動方針や活動内容などを話して、自身の障害の事や生立ちや日常生活の事、趣味の絵を描く事を話して、私が描いた絵をスクリーンに写して観てもらったり、私の半生の中で思い出深い出来事を話させてもらってきました。

その中の一つ、私の半生の中で思い出深い出来事を書かせてもらいます。

『だいぶ前になりますが、小学 4 年生の生徒さん達に話しに行く事があり、質問コーナーで、ある生徒さんから、「障害者に生まれてきて良かったと思う事は何か?」と聞かれました。私はう～んとかかなり考えて、「そうですね、障害者に生まれて良かった事はですね、私は障害が重いので自分では身の回りの事は一つできません。人に関わってもらわないと生きていけません。ですから大勢の人に関わってもらい、今まで生きてきました。大勢の人に出会えたのは、私が重度の障害者だったからだと思っています。この大勢の方々から色々な事を学びました。ですので、この大勢の方々との出会いは、私の心の中の宝石だと思っています。』

これからもこの心の中の宝石を大事にして生きていこうと思っています。これが障害者として生まれてきて良かったと思う事です。」と話しました。私の半生の中で、一番の思い出深い出来事(質問)でした。』

と話し、最後に生徒さんへ『学校を卒業されて、どこかの介護施設、あるいはどこかのヘルパー事業所で働かれるようになられた時には、介護者のペースで利用者の介護をするのではなく、利用者一人一人に寄り添い、利用者の声や気持ちに耳を傾け、利用者の気持ちを尊重し支援して下さい。一利用者として私からのお願いです。』と話し教室を後にしました。

このような貴重な場を与えて下さった富山短期大学健康福祉学科の中島先生、ありがとうございました。

生徒さんの真剣な質問や眼差しに接して、私も本当に良い勉強になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

吸痰実地研修報告

日下 正秀

昨年の 11 月、自らの身体をモデル材料にして吸痰の資格を取る吸痰実地研修を自宅で行いました。以下その報告をしていきます。

10 月の初旬に咳と痰が止まらず呼吸困難となった事から救急車を呼び病院で「肺炎」と診断され、そのまま三週間入院が続きしました。

入院中に担当の看護師から「一人暮らしだそうだけど、吸痰できる人は何人いるの?」と言われ「一人いる」と答えると「一人位では退院の許可はされませんよ」「施設に入ってもらわなければならなくなるよ」と脅迫されました。

「あっ、そうですか、判りました」という訳にもいかないが、少し不安になったのも事実です。

自宅で資格のないヘルパーに吸痰の資格を取ってもらうことができる方法があると以前から聞いていたので包括支援センターやCILに聞いてみました。

話によると訪問看護の制度を利用していれば簡単に看護師を派遣して貰えたのですが、私は訪問看護を使っていませんでした。そのことで看護師の派遣を病院から断られ続け、少し遠回りしました。吸痰のやり方や手順、注意点などの指導や、やり方に問題がないかどうかと合否の判定をする看護師を派遣してくれる病院がようやく見つかりました。受講者は私の介護に日常的に入っている男性ヘルパーとヘルパーの派遣担当の3人です。

吸痰の具体的なやり方は、痰を吸い出すための管を喉の近くや鼻の奥に深く入れることから雑菌で化膿させないように消毒をした上で吸痰を始めます。痰を吸い取るプラスチックの管の先端に近いところに斜めに2カ所切込みのある管を使い口の中の痰を吸い出すのです。

しかし口の中にあるのは唾ばかりで当事者としてはむなしい行為ですが講習は盛り上げなければいけません。それを5~6回繰り返すのですが、毎回、管を洗って消毒するのです。

研修ですから1回1回わざとらしい挨拶例えば「今日の体の調子はどうですか?」「痰の具合はどうですか?」この挨拶に対してあまりにも白々しい事

から「絶不調」「吸痰しなければ絶好調」などと合いの手を入れて楽しく研修を盛り上げる努力をしました。

口からの吸痰が終わったら次は鼻からの吸痰です。1人、2時間～2時間半わざとらしいあいさつや吸痰は結構疲れました。

9年前には昨年入院した病院とは別の病院で同じく肺炎で入院したとき若い看護師が吸痰して鼻の奥を傷付けられ痛い目にあわせられました。その時は鼻の穴の中にエイリアンが侵入してきて喰いつかれているような感覚でした。その時も口や鼻の穴が大きくて入れ易いと言われました。未熟な看護師は「痛い」というと怖がって他の者にやらせようとするか、「痛い」という声を無視して管を入れてくるような看護師たちでした。

幸い今回の研修参加のヘルパーにそんな恐ろしいものはいませんでした。

鼻からの吸痰をする前には左の鼻の穴の中が真っ直ぐではなく、壁があると記憶していたのですが、穴が横にずれていたのは右側の鼻の穴でした。今まで知らなかった自分の本当の姿を知ることができました。

吸痰研修ありがとう！

今回の吸痰研修で新たに男性ヘルパー3名が吸痰資格を取得しました。

もっともこの3人の取得した吸痰の対象者は私オンリーです。

病院の看護師や施設職員など一般的に吸痰の資格を取ろうと思っている人達はこういったところで資格を取ったり吸痰行為の経験を積むのかというと特別養護老人ホームなど吸痰が日常的に必要な人達が集まって生活している施設で行われています。私の場合は普段は痰が少し絡むか全くない状態なので、痰が絡むようになったら咳が止まらず呼吸困難となり救急車を呼ぶしかなくなってしまいます。そうは言っても最悪に備えてさすがに大船に乗った気分にはなれませんが、小舟や浮き輪を手にした位の安心感は貰えたかなあ。呼吸器の弱い方はもちろんのこと、その他の皆さんも風邪やインフルエンザに気をつけましょう。

報告終わっていきます。

皆さんジタバタしましょう！





ぼっチャ DE あそボッチャ!

2023 年 3 月 16 日 (土)

13:30~17:00

参加費 : 200 円

富山市障害者福祉プラザホール

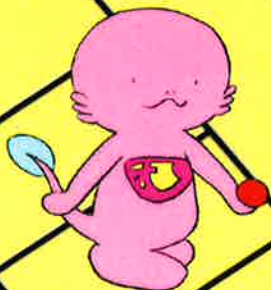
持ち物

内履き・飲み物・タオルなど

締切は 3 月 3 日です



パラリンピックの種目でもあるボッチャ。誰でも楽しめます！
夢宙人のぼっチャは、更にルールを簡単にして、また個人ではなくペアを組むことで協力しながら楽しめるようにしています。テレビでしか見たことない人も、今回初めて知った人も、誰でも楽しめます♪
ルールも、やりながらお伝えするので大丈夫ですよ！ぜひ一緒に楽しみましょう！
※介護等の支援が必要な方は、移動支援などをご利用下さい！



主催・お問合せ先

夢宙人

誰でも楽しめるレクリエーションが取り扱っています

muchu.jin.55@gmail.com

090-3767-7292 (シミズ)

コロナもインフルもまだまだな世の中なので、感染対策を行いながら楽しみたいと思います。参加される方で体調の優れない方は参加を見合わせて頂ければと思います。また、マスクの着用、手洗い消毒など感染対策へのご協力をよろしくお願いいたします。



◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎8050問題講演会（ひきこもり）ご案内

80代の親が50代のひきこもりの子どもの面倒を見ているという「8050問題」について話し合いたいと思います。

日 時：3月9日(土)13時～15時

場 所：サンシップとやま602・603・604号室

講演者：黒川祥子さん

参加費：無料

申し込み方法：メール・FAXなどで申し込みお願いします。

お問い合わせ：NPO法人自立生活支援センター富山（平井さん）

TEL：076-444-3753

E-mail:info@cil-toyama.com

◎ぼっちゃDEあそぶポッチャ

日 時：3月16日(土)13:30～17:00

場 所：富山市障害者福祉プラザ

申込締切：3月3日(日)

お問い合わせ：E-mail:muchu.jin55@gmail.com



ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年もよろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



一月一日の夕方に能登半島地震が起きました。まず、この地震で亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。そして、寒い避難所での生活を余儀なくされている方々にお見舞い申し上げます。

富山でも結構揺れて被害が出ています。余震も中々収まらず、私なんかは、今でも、ちょっとでも揺れると、地震だと思い、寝ている時などは、飛び上がる事が多い日が続いています。精神的に参って来ています。早く収まることを心から祈っています。
(アパッチ) より

カンパ

横山 順子さま

いただきもの

福島 美喜さま 大橋 日史さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276番地3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。